

(参考)

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業評価参考様式

都道府県名 宮崎県

○ 産地パワーアップ計画

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																地域(県又は国)の価格(販売単価)				補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%) ¹⁾	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					現状								目標								実績																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					年度	面積(ha)	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積(ha)	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	〇年度	面積(ha)	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	事業実施前年度	目標年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位

宮崎中央 地域農業 再生協議 会	58	宮崎市 国富町	いちご	①販売力強化に向けた取組 ②生産力の向上に向けた取組 ③人材の育成に向けた取組	総販売額の10%以上の増加	28	576,977 千円	16.99	ha	582	t	986	円 /k g		3	635,500 千円	17.45	ha	631	t	1,007	円 /k g		3	623,048 千円	13.74	ha	497	t	1,254	円 /K g	—	1,104	円 /K g	1,185	円 /K g	0.93	579,435 千円	R3年度の個別申告書やJ Aの販売実績データを基に検証。 ・現状値 H28総販売額：576,977千円/16.99ha ※販売額、面積はJA宮崎中央実績より ・目標値 R3総販売額：635,500千円/17.45ha ※販売額はJA宮崎中央中期計画、面積は生産者意向調査により算出 ・目標／現状＝635,500千円/576,977千円 →10.1%	4.2%	①産地の現状：宮崎県宮崎市・国富町地区。 JA宮崎中央いちご部会員で構成。いちごの 生産面積の拡大及び収量・品質の向上等によ る農業経営の安定を図り、産地としての維持 ・発展を目指した。 ②本事業の取組：安定生産による契約販売の 拡充と優位販売、秀品率の向上等による販売 単価の向上を図った。また、A Pハウスや高 設栽培設備の導入により規模拡大を促すとも に、収穫期間の延長、I C Mの実践、優良 品種の選定・導入等により収量・品質の向上 を図った。さらに、部会組織や青年部組織を 通してリーダーや次世代リーダーを育成する とともに、新規就農者研修施設等との連携に より担い手の確保を図った。 ③達成状況：冬場の温度が低く生育未熟とな り、単価の高い時期に出荷できず、総販売額 の減少に繋がった。 ④改善方策：厳寒期の温度設定、栽培管理を 徹底し、また、新規就農者、後継者の確保に よる面積の拡大、高設栽培設備導入による、 収穫期間の延長、I C Tの実践、優良品種の 選定・導入等により収量・品質の向上に取り 組み、目標の達成に努める。	厳寒期の温度管 理等をはじめと する栽培管理を 徹底し、単価高 が狙える時期の 出荷とともに、 新規就農者等の 担い手確保に努 め、目標達成で きるよう、生産 者の努力はもと より、関係機関 の連携による指 導を行うことが 期待される。		
高鍋町農 業再生協 議会	61	高鍋町	茶	中心的経営体の茶 の販売額増加による 産地力の強化 ①生産力の向上 ②販売力の強化 ③人材の育成	販売額の10%以 上の 増加	28	392,0千円 /10a	63.9	ha	317,415	kg	789.2	円 / kg		3	452.8 千円/10a	63.5	ha	361,419	kg	795.7	円 / kg		3	361千円/10a	60.91	ha	283538	k	774.56	円 / kg	—								H28年度およびHR3年度の個別販売実績により検証 【現状値】 ①392.0千円/10a H28年度総販売額 250,513千円 H28年度総面積 63.9ha H28年度10a当たり販売額 392.0千円/10a 【目標値】②452.8千円/10a R3年度総販売額 287,590千円 R3年度総面積 63.5ha R3年度10a当たり販売額 452.8千円/10a ②/①→15.5%の増加	-51.0%	新型コロナウイルス感染症等の影響 もあり、単価の低迷が続いている。 加えて茶樹の更新や燃油高騰の影響 による生産の抑制等で生産量も前年 度（令和2年産）より減少しており、 達成率が大きく減少した。 目標の達成に向け、令和2年から3 年にかけてJAによる生葉の一括買取 による買取価格の増加や施肥、刈取 り時期の調整による茶品質の向上と 均一化の試験を行い、マニュアル化 して茶農家への周知を図った。 今後この取り組みを継続し、茶産 地全体の品質向上を図ることで目標 達成を目指す。	新型コロナウイル スなど情勢の 影響を受け、単 価の低迷が続 き、生産量の減 少にも繋がって いる。 単価維持のため に町やJAと連携 し、栽培マニユ アルの作成、周 知に関する協議 を行った。 引き続き生産を 継続できるよう 、マニュアルの 見直し、周知 や価格維持のた めの関係機関協 議などの支援を 行う必要がある 。	目標 年度につ いては、大 久保氏 の事業取 り下げがあ ったもの の、令和 3年度から変 更しないこ ととする。
西都市農 業再生協 議会	62	西都	施設ニラ	施設ニラ産地の収益力 の高い生産構造へ移行 ①生産基盤を強化する ことによる安定生産の 確立に向けた取組 ②販売担当者、生産者 が緊密に連携し、契約 販売の拡大等による安 定出荷体制の確立に向 けた取組 ③生産者相互の技術や 生産状況の情報交換の 実施による栽培技術及 び経営力の向上を図る 取組 ④出荷調整作業を集約 することによる労働時 間の削減、労働力不足 の解消に向けた取組 ⑤集出荷場の機能・処 理能力の向上を図るこ とによる集出荷場の作 業短縮によるコスト （人件費）削減に向 けた取組 ⑥予冷库の機能向上に よる収穫から出荷まで 品質・鮮度保持が強化 できることによるブラ ンド力向上とそれに伴 う販売単価の安定・向 上に向けた取組	総販売額の10% 以上の増加	24 ～ 28 年 の 平均	668,382 千円	28.82	ha	1,376	t	485.6	円 / kg		3	761,742千円	29.77	ha	1,573	t	484.3	円 / kg		3	総販売額 608,417 千円	26.3	ha	1137	t	535	円	—	505	円 /k g	552	円 /k g	0.915	556,565 千円	検証方法：J A西都ニラ部会の販売額にて検証 【現状値】 ①：668,382千円 H24年度からH28年度までの部会員販売額の平均値の合計額 H28年度面積：28.82ha ※販売額及び面積は、J A西都ニラ部会の生産者実績より 【目標値】 ②：761,742千円 R3年度販売額：761,742千円 R3年度面積：29.77ha ※販売額、面積は部会員の意向確認調査の結果より ②/①→14.0%の増加 【価格補正地域価格根拠】 ・J A宮崎経済連R 3年販売実績	-119.8%	R3年度は、天候も安定し、品質も比 較的良かったが、部会員の高齢化に よる離農などが要因で作付け面積減 少により収量が大幅に減少した。技 術支援による新規就農者の定着等 により産地拡大に努めたい。	作付け面積の減 少による出荷量 が減少している ことから、労力 補完などの部会 全体での栽培面 積拡大、意識の 醸成を図っていく 必要がある。		

都城市農 業再生協 議会	63	都城市	茶	茶の販売額増加に 向けた産地体制の 強化 ①生産力の向上 ②販売力の強化 ③人材の育成	販売額10%以上 の増加	28	320千円 /10a	40.9	ha	124,906	kg	1,048	円 ／ kg		3	353.2千円 /10a	41.1	ha	110,113kg	kg	1,318円 /kg	円 ／ kg		3	251千円/10a	33.6	ha	80,251	kg	1,051	円 /k g					J A都城H28年販売 （令和2年） 実績と令和3年販売実績にて検証を行う。 【現状値】 ①320千円/10a H28年度JA都城販売額 130,907千円 【目標値】 ②353.2千円/10a 令和3年度JA都城販売額 145,166千円 ②/①→10.3%の増加 【実績値】 ③251千円 /10a 令和3年度JA都城販売額 84,358千円 ③/①→21%の減少	-207.8%	目標達成に向けて県茶業支場の協力の もと、製造研修を実施し、技術の 情報共有、火入れ技術の向上に繋がる 取組み等を実施したが、茶価の低 迷が続く中、一番茶時期に気温が低 く新芽生育が抑制されたことに加え、 晩露、長雨の影響もあり、例年 に比べ収量・価格が減少し、目標の 達成が出来なかった。 今後は目標達成に向けて、2番、3 番茶の有利販売や、ブランド化に取 り組む。	本事業による機 械導入、施設整 備により、作業 改善や品質の向 上が図られた。 例年に比して収 量が低かったため目 標達成に届かなか った。今後、 関係機関と連携 した品質向上の ための研修やブ ランド化等への 支援を継続す る。		
小林市農 業再生協 議会	70	小林市	大麦若葉	更なる大麦若葉産 地強化への体制整 備 ①生産力向上に向 けた取組 ②販売力向上に向 けた取組 ③人材の育成に向 けた取組	10a当たり販売 額10%以上増加	28	109,535円 /10a	26.94	ha	37,434	t	788	円 ／ kg		3	129,718円 ／10a	40	ha	60100	kg	863	円 ／ kg		3	67,793円 /10a	14	ha	21,140	kg	448	円 ／ kg	-	-	-	-	事後評価の検証方法 リーフ生産組合およびJAこばやしの実績により検証 現状値 ※リーフ生産組合およびJAこばやし平成28実績 ①反 収：109,535円/10a ②販売額：29,508,780円 ③面 積：26.94ha 目標値（令和3年度計画） ※リーフ生産組合およびJAこばやしの作付計画 ①反収：129,718円/10a ②販売金額：51,887,000円 ③面積：40ha 目標値/現状値 反収18.4%の増加	-207.3%	①産地の現状、課題・問題点：本市では遊休 農地の増加が問題となっており、土地を有効 利用するため大麦若葉などの栽培を推進して いる。しかしながら、専用機器の導入が遅れ ているため、収量・品質が伸び悩んでいる。 また、品質を理由に出荷が停止となる状況が 発生しており、大麦若葉の生産を断念する生 産者が出ている中、さらにコロナ禍の影響に より出荷が制限されるため、栽培面積が減少 している。 ②本事業の取組や産地独自の取組による効果 や成果目標の達成状況：遊熱蒸気発生装置、 ポイラー、兼用型大麦若葉収穫機の導入によ り生産・加工処理の適正化が図られたが、取 引先の出荷量制限があり目標未達となった。 ③実績等が現状を上回る又は下回る場合の具 体的な要因：令和3年度において新型コロナウ イルスの影響により、出荷先製造工場の余 剰在庫による出荷制限及び取引先の新規開拓 を余儀なくされ、取引数量の大幅な減少が あったため、目標値の未達となった。令和4年 度では、新規取引先の開拓及び取引数量増加 に向けて収量増加を推進する。 ④達成状況が低調な場合における具体的な指 導内容を記載：関係機関が連携して技術・ 経営の指導を行う。	加熱蒸気発生装 置、ポイラー及び 兼用型大麦若葉収 穫機の導入によ り、生産力の向上 を図ったが、新 型コロナウイルス の影響により出荷 先が余剰在庫を抱 えたため、出荷受 入れ制限があっ た。 このため出荷調 整を余儀なくさ れ、出荷量が大幅 に減少した。 今後は新規取引 先の開拓及び取引 数量増加に向け て関係機関と連携 して生産者に対する 技術、経営指導を 実施し、目標達成 を目指す。		
宮崎中央 地域農業 再生協議 会	77	国富町	施設野菜 （ピーマ ン）	①販売力強化に向 けた取組 ②生産力の向上に 向けた取組 ③人材の育成に向 けた取組	総販売額の10% 以上の増加	29	647,179 千円	13.58	ha	1,683	t	384	円 ／ kg		3	712,558 千円	13.58	ha	1,789	t	398	円 ／ kg		3	611,274 千円	10.63	ha	1,352	t	452	円 /k g	427	円 /k g	471	円 /k g	0.91	556,259 千円	-139.1%	①産地の現状： 宮崎県国富町。ピーマンの共同出荷を行う J A宮崎中央ピーマン部会の国富支部で構 成。ピーマンの生産面積の拡大及び収量・ 品質の向上等により農業経営の安定を図 り、産地としての維持・発展を目指した。 ②本事業の取組： 安定的な生産体系により契約率の向上に取 組むとともに、適正な栽培管理の徹底及び 炭酸ガス発生装置や環境測定・制御装置の 導入推進により収量や品質の向上に取組ん だ。 さらに、部会組織等を通じてリーダーや次 世代リーダー、担い手の育成を図るなど、 産地の維持・発展に向け取組んだ。 ③達成状況：昨年同様、作物の病気や単価 安により、達成に至らなかった。今後も小 まめな防除を始めとする栽培管理指導を継 続し、目標達成に努める。	作物の病気や単 価安により、達 成に至らなかつ た。今後も小ま めな防除を始め とする栽培管理 指導を関係機関 で連携して行 い、目標達成に 努める。	

西臼杵地域農業再生協議会	79	高千穂町 日之影町 五ヶ瀬町	茶	中心的経営体の茶の販売額増加による茶産地の強化 ①生産力の向上 ②販売力の強化 ③人材の育成	販売額の10%以上の増加	29	168千円/10a	68.07	ha	86.4	t	1,322	円/kg	3	186千円/10a	68.07	ha	93.3	t	1,355	円/kg	3	106千円/10a	56.65	ha	48.2	t	1240	円/kg		H29年度およびR3年度のJ A販売実績により検証 【現状値】①168千円/10a H29年度総販売額114,252千円 H29年度総面積 68.07ha 【目標値】②186千円/10a R3年度総販売額126,362千円 R3年度総面積 68.07ha ②/①→10.6%の増加 【実績】③106千円/10a R3年度総販売額59,795千円 R3年度総面積 56.65ha ③/①→36.9%の減少	-344.4%	①高齢化が進み、面積は減少傾向。一部は後継者就農が見られ、茶園継承も実施している。 ②兼用型摘採機や荒茶加工施設、選別機等の導入による省力化、品質向上を図るとともに、販売面でも地元、国内、海外向けへとPRを行っている。 ③令和2年は晩霜被害により、一番茶の出荷量が減少した。一部で防霜ファンの新設・改修が必要であり、事業導入を希望している生産者も存在する。令和3年は3月までの販売地進捗活動も行えず、販路拡大も厳しい状況だった。一方で、取組者の独自ルートでの販売努力により、個別目標の達成が見られる反面、産地全体の目標の達成が運動しない問題がある。 ④今後も、高千穂地区茶業振興会による「茶・兼用作物等地域特産作物体制強化促進事業」を活用した販売対策強化や県の「茶産地構造転換対策事業」による生産性向上の取組みを通して、各市・県と連携して技術指導を行い、収量・高品質化に取り組み目標達成を目指す。	目標達成に向け、県事業を通じた生産性向上支援を実施すると共に販売PR活動支援を実施。産地規模は縮小しているが、取組主体は規模拡大傾向も見られるため、生産・販売力向上に向けた取組を支援し、産地及び個別目標の早期達成を促す。							
西都市農業再生協議会	88	西都西	きゅうり	施設きゅうり産地の収益力の高い生産構造へ移行 ①環境制御技術等の確立による安定生産の取組 ②病害虫対策の徹底による安定出荷体制の確立に向けた取組 ③生産者相互の技術や生産状況の情報交換の実施による栽培技術及び経営力の向上を図る取組	10a当たり販売額の10%以上の増加	29	3,641千円/10a	11.03	ha	1,156	t	347.0	円/kg	3	4,019千円/10a	11.04	ha	1,280	t	346.0	円/kg	3	3,182千円/10a	9.21	ha	1002	t	293	円/kg	-	309	円/kg	304	円/kg	1,016	3,232千円/10a	-108.2%	検証方法：J A 西都ハウス胡瓜部会三納、三財支部のH29及びR3販売額にて検証 【現状値】 ①：3,641千円/10a H29年度の販売額：401,632千円 H29年度の面積：11.03ha ※販売額及び面積は、J A 西都ハウス胡瓜部会三納、三財支部の生産者実績より 【目標値】 ②：4,019千円/10a R3年度の販売額：443,706千円 R3年度の面積：11.04ha ※販売額はJ A 西都中期計画、面積は生産者アンケートより ②/①→10.4%の増加 【価格補正地域価格根拠】 J A 宮崎経済連 R 3 年販売実績	令和2年度に引き続き、低価格での価格帯で推移しており、作を早めに切り上げる生産者も多く、産地として収量が下がった。防除管理や例年通りの定植を行い、収量増を図りたい。	低単価で推移しているうえ、資材等のコスト高により、出荷期間の短縮により全体出荷量が減少している。情勢の影響を受ける中でも生産を継続できるように支援を行う必要がある。	
高原町農業再生協議会	90	高原町 小林市 都城市	ほうれんそう	収益性の向上に向けた体制整備 ①生産力の向上 ②販売力の強化 ③人財の育成	総販売額の10%以上の増加	30	875,634千円	275	ha	2,369	t	369.6	円	3	1,088,572千円	275	ha	3,081	t	353.3	円	R3	996,009千円	169	ha	2,257	t	379.7	円	-	-	-	-	-	四位農園の販売実績により検証 ・現状値 (H30) 総販売額：875,634千円 面積：2754a ・目標値 (R3) 総販売額：1,088,572千円 面積：275ha ・目標/現状=24.3%の増加 ・実績値 (R3) 総販売額：996,009千円 面積：169ha	56.5%	①産地の現状、課題・問題点：高原町は県内でも有数の露地野菜生産地であり、特に消費者ニーズの高い加工・業務用ほうれんそうの作付けが増えている。一方で農業者の高齢化等による担い手不足やそれによる耕作放棄地の増加が懸念されるとともに、輸入品の増加による価格の低迷や生産資材の高騰、人件費の増加等により収益性が低下し、経営が不安定となっている。 ②本事業の取組や産地独自の取組による効果や成果目標の達成状況：加工ラインの設備（自動箱詰機）を導入することで、実需者のニーズに応じた安定供給体制が整備でき、生産量の拡大が見込まれる。 ③実績等が現状を上回る又は下回る場合の具体的な要因：令和2年度に続き新型コロナウイルスの影響による供給先の減少により、在庫を抱えている状況。その調整と生産面積を増やすこと、実需の増加を目指すとともに、関係機関と連携して、生産者に対する技術・経営指導を実施し目標達成を目指す。 ④達成状況が低調な場合における具体的な指導内容：販路拡大による販売量の増加を目指す。また関係機関と連携して、技術・経営指導を実施する。	加工ラインの設備（自動箱詰機）を導入することで、ニーズに応じた安定供給体制が整備でき、生産量の拡大が見込まれる。今後は、販路拡大や冷凍食品のニーズ拡大による販売量の増加を目指すとともに、関係機関と連携して、生産者に対する技術・経営指導を実施し目標達成を目指す。	契約取引のため価格補正なし		

